

2024 年 9 月災害時被災状況報告訓練について

会員広報出版委員会

神奈川県病院薬剤師会では例年、大規模災害に備え災害時被災状況報告訓練を実施しています。災害時には被災状況を取りまとめ把握することから始まります。今回の訓練から、報告方法を日本病院薬剤師会の被災状況・支援ニーズ報告 ver.1.0 に準じた連絡フォームのみとし、FAX、メールの利用を取りやめました。連絡フォームは神奈川県病院薬剤師会ホームページおよび月例案内に URL と QR コードを表示して周知しました。また被災想定として、神奈川県災害情報ポータル (<https://www.bousai.pref.kanagawa.jp>) のハザードマップより、自施設付近の災害危険度から被災状況を想定して頂きました。各施設からの災害時被災状況報告書を取りまとめたので報告いたします。

【被災想定】

被災日時：令和 6 年 9 月 2 日(月曜日) 午前 9 時

災害規模：相模湾を震源とし、神奈川県のほぼ全域で震度 6 強以上の地震が発生した。

相模湾内で 6～10m、東京湾内で 3～5m の津波、県全域の海岸沿いと河川の流域では、液状化の可能性がある。

1. 報告施設件数

148 施設／321 施設（回収率 46.1%）

2. 医療機関の所在地（都道府県） ☐ 必須 148 施設回答あり（100%）

3. 医療機関機関名 ☐ 必須 148 施設回答あり（100%）

4. 報告者名 ☐ 必須 148 施設回答あり（100%）

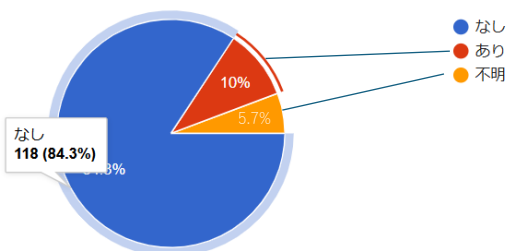
5. 報告者の所属 ☐ 必須 職員：148 施設（100%）外部支援者：0 施設（0%）

6. 報告者の電話番号 ☐ 必須 148 施設回答あり（100%）

7. 医療機関薬剤部門の連絡先 ☐ 任意 50 施設回答あり（33.8%）

8. 薬剤師の人的被害状況 任意

なし	118 件
あり	14 件
不明	8 件



9. 人的被害が生じている場合

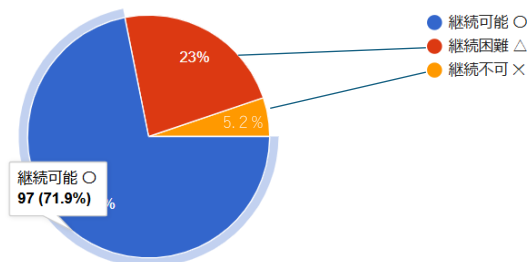
原文のまま記載)

怪我数名、出勤できない職員...、

職員の怪我等の状況は把握できているが、患者さんの状況はまだ把握できていない。

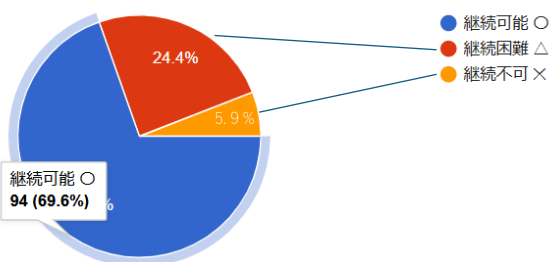
10. 内服薬調剤の継続は可能ですか 任意

継続可能○	97 件
継続困難△	31 件
継続不可×	7 件
無回答	13 件



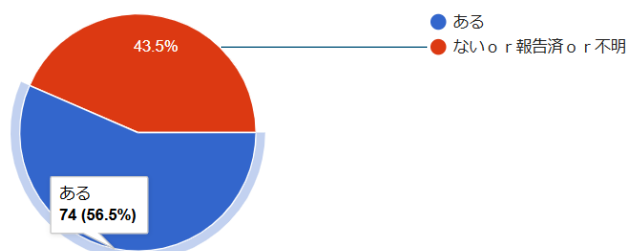
11. 注射調剤の継続は可能ですか 任意

継続可能○	94 件
継続困難△	33 件
継続不可×	8 件
無回答	13 件



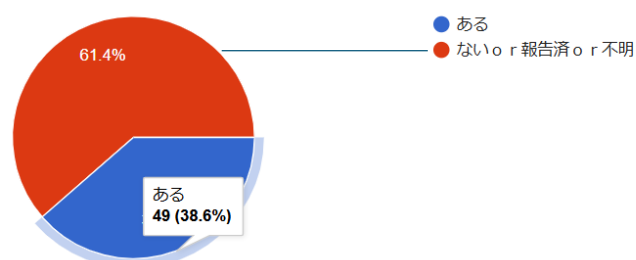
13. 調達困難で不足している o r 今後不足の可能性のある医薬品はありますか 任意

ある	74 件
ない or 報告済 or 不明	57 件
無回答	17 件



14. 調達困難で不足している o r 今後不足の可能性のある資材はありますか 任意

ある	78 件
ない or 報告済 or 不明	49 件
無回答	21 件



15. 薬剤業務関連の被害状況を自由に記載して下さい。任意 (一部抜粋して原文のまま記載)

地震による建造物の影響は少ないものの、防潮堤を超えた浸水被害により薬剤部の主だった調剤機器が浸水被害を受け動作不能。医薬品の在庫に関しては落下、浸水により大部分が使用不可と思われる。

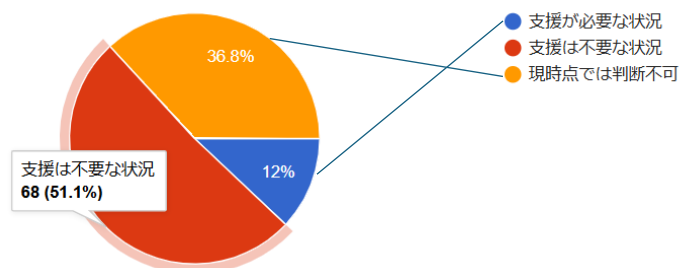
棚から医薬品が落ち散乱しているが、使用は可能な状態である。

水害に備え上階への医薬品の避難を始めているが、停電の影響で搬送が困難である状況

医薬品不足。抗菌薬の納入が一切なく、感染症治療に滞りあり。第一世代セフェムでもいいから 50 バイアル求む。

16. 外部支援（病院薬剤師）の必要性 任意

支援が必要な状況	16 件
支援は不要な状況	68 件
現時点では判断不可	49 件



17. 伝言板 任意（一部抜粋して原文のまま記載）

施設は海からは離れているため津波の被害はないが、震度が大きかったため街中では建物の被害がある。今後患者が多く運ばれて来る可能性があるため、既に不足している抗菌薬の在庫確保が不安である。
1～2 週間分の通院患者の薬はあるが、今後の道路などの復旧状況によっては未入荷の薬や医療材料の支援が必要になるかもしれない。
当院採用でない同効薬の切り替え、薬剤の調達、在庫管理人員として薬剤師 2 名の派遣を希望します。

まとめ

今回の訓練から報告方法を日本病院薬剤師会の被災状況・支援ニーズ報告 ver.1.0 に準じた連絡フォームのみとしました。連絡フォームが年々周知されたため（昨年は報告のうち 94%）、また送信先が被災した場合を想定し、昨年まで利用していた FAX、メールは取り止めることとしました。報告施設数は 148 施設であり、全会員施設の 46.1% と昨年度までの 3 割前後から増加しており、今後もさらなる報告施設の増加を目指したいと考えます。

昨年度までは台風の想定が続きましたが、元日から能登半島地震が発生したことを鑑み、本年度は神奈川県内のほぼ全域で震度 6 以上の地震が発生した想定としました。神奈川県においてもいつ発生してもおかしくない大地震による影響を常に考え、薬剤部のマネージメントを行っていかなければならない状況です。また神奈川県災害情報ポータルのはazardマップも合わせて確認していただくことにより、より具体的に自施設付近の災害の危険度から被災状況を想定して頂きました。交通の乱れによるスタッフの出勤への影響や納品の遅れ、また海岸や河川付近のご施設では津波や液状化等による影響を確認して頂けたかと思います。今後は、ご報告いただいた被災状況を把握し、その状況への対応策や、情報をどう活かせるかなど、報告方法の検討をしていきたいと考えております。今後ともご協力よろしくお願いいたします

報告施設件数推移

年	2019	2020	2021	2022	2023	2024
報告施設数	89	67	98	105	94	148
会員施設数 ※)	343	339	333	333	332	321
報告割合 (%)	25.9	19.8	29.4	31.5	28.3	46.1

※) 事業概要報告書より